

二〇二五年度

早稲田大学文学部

転部試験問題

【東洋哲学 コース】

※解答は別紙(縦書)

【科目名…

古典中国 語】

(漢文)

問題一 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

禮者、謹_三於治_二生死_一者也。(1) 生人之始也。死人之終也。終始俱善、人道畢矣。故君子敬_レ始而慎_レ終、終始如_レ一、是君子之道、禮義之文也。(2) 夫厚_二其生_一而薄_二其死_一、是敬_二其有_一レ知而慢_二其無_一レ知也、是奸人之道、而倍叛之心也。(3) 君子以_二倍叛之心_一接_二臧穀_一猶且羞_レ之、而況以事_三其所_二隆親_一乎。故死之爲_レ道也一、而不_レ可_レ得_二再復_一也。(4) 臣之所_二以致_一レ重_二其君_一、子之所_二以致_一レ重_二其親_一、於_レ是盡矣。故事_レ生不_二忠厚_一不_二敬文_一、謂_二之野_一、送_レ死不_二忠厚_一不_二敬文_一、謂_二之瘠_一。君子賤_レ野而羞_レ瘠。

*謹 厳粛にする

*畢 完全である

*文 修飾

*慢 あなどる

*臧穀 奴婢

*隆 たつとぶ

*瘠 (せき)

粗略

問一 傍線部(1) (2) を漢字假名混じりの書き下し文にせよ。

問二 傍線部(3) (4) を現代語に譯せ。

問三 この文章の主旨を簡潔に記せ。

問題一 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。(返り点を省略した箇所がある)

長者見下是大火、從四面一起上、即①大驚怖、而作是念。我雖下能於此所燒之門一安隱得上出、而諸子等、於火宅内一樂一著嬉戲一、不覺不知、②不驚不怖。火來逼身苦痛切レ己、心不厭患一無二求レ出意一。舍利弗、是長者作是思惟一。我身手有レ力。當下以二衣被一、若以二机案一、從レ舍出上レ之。復更思惟、是舍唯有二門一、而復狹小。諸子幼稚、未レ有レ所レ識、戀一著戲處一。或當三墮落爲二火所レ燒。我當三爲説二怖畏之事一。③此舍已燒、宜時疾出、無令爲火之所燒害。作是念一已、如レ所二思惟一、具告二諸子一。汝等速出。父雖二憐愍、善言誘諭一、而諸子等、樂一著嬉戲一不二肯信受一。不レ驚不レ畏、了無二出心一。亦復不レ知二何者是火、何者爲レ舍、云何爲レ失。但東西走戲、視レ父而已。爾時長者即作是念一。此舍已爲二大火所レ燒。我及諸子、若不二時出、必爲レ所レ焚。我今當下設二④方便一、令二諸子等一得レ免中斯害上。父知二諸子、先心各有レ所レ好、種種珍玩奇異之物、情必樂著一。而告レ之言、汝等所レ可二玩好一希有難レ得。汝若不レ取、後必憂悔。如レ此種種羊車・鹿車・牛車、今在二門外一。可二以遊戲一。汝等於二此火宅一宜二速出來一。隨二汝所レレ欲、皆當レ與レ汝。爾時諸子、聞二父所説、珍玩之物一、適二其願一故、心各勇銳、互相推排、競共馳走、爭出二火宅一。是時長者、見下諸子等安隱得レ出、皆於二四衢道中露地一而坐、無二復障礙一、其心泰然歡喜踊躍上。時諸子等、各白レ父言、⑤父先所許玩好之具、羊車鹿車牛車、願時賜與。

問一 傍線部①で、長者は何を恐れ、何を繫念しているのか。

問二 子供たちが傍線部②のような態度なのは何故か。

問三 傍線部③を、漢字假名混じりの書き下し文にせよ。

問四 傍線部④で「方便」と言われているが、具体的に長者はどのような手立てを用いたのか。

問五 傍線部⑤を、漢字假名混じりの書き下し文にせよ。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

転部試験 解答用紙

〔 東洋哲学 コース 〕

〔 科目名… 一般外国語 〕

——— ここから記入すること ———

総 点

--

問題一

問一

(1)

(2)

問二

(3)

(4)

問三

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——